

県立浪岡養護学校のスクール・ミッション及びスクール・ポリシー

スクール・ミッション（各校の求められる役割、目指す学校像）
○一人一人の障がいの状態等に応じて、その時に最も必要な教育を行うとともに、学んだことを生かしながら、自立と社会参加に向けて、主体的に学び続ける幼児児童生徒を育てます。 ○家庭や地域、関係機関と連携し、協力して幼児児童生徒を育てるとともに、障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組を推進します。 ○幼児教育施設、小・中学校、高等学校等とつながり、必要な支援に努めながら、地域の特別支援教育の推進に貢献します。
スクール・ポリシー（一貫性を持って教育活動を進めるための具体的な3つの方針）
【グラデュエーション・ポリシー（育成を目指す資質・能力に関する方針）】 将来の豊かな生き方（もっている力を十分に発揮し、主体的に生きる）の実現に向け、次のような力を育みます。 ○自分の病気や障がいを理解し、心身の健康の保持・増進に必要な活動を継続する力を育む。＜心身の健康を保持する力＞ ○成長の土台となる「意欲、主体性」を育み、社会参加の基盤となる「人と関わる力」を身に付けさせ、さらに、もっている力を最大限に発揮し、自分の意思により進路選択したり、地域での活動範囲や内容を広げたりする力を育む。＜自分らしく地域で楽しく生活する力＞
【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）】 次の項目に重点を置き、教育活動を展開します。 ○授業の充実 ○健康で安全・安心な教育環境の充実 ○病弱教育の専門性と指導力の向上 ○センター的機能の充実と関係機関・地域等との連携 ○キャリア教育の推進と進路指導の充実
【アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）】 次のような児童生徒を待っています。 ○心身の健康の保持とよりよい生活習慣の確立に向けて努力する児童生徒＜基本的生活習慣の確立＞ ○目標をもち、何事にも進んで取り組む児童生徒＜チャレンジ精神＞ ○自分のことを大切にし、深く理解しようとする児童生徒＜自己理解・自己受容＞



あおもいけんりつなみおかようごがっこう 青森県立浪岡養護学校

☆病気を治療しながら学習することができる
特別支援学校です。



スクール・ミッション

自立と社会参加に向けて、主体的に学び続ける幼児児童生徒の育成
障がいのある者と障がいのない者が支え合い、認め合える社会の実現に向けた取組の推進
地域の特別支援教育の推進への貢献



浪岡養護学校
スクール・ポリシー &
スクール・ミッション

スクール・ポリシー

将来の豊かな生き方の実現に向け、次のような力を育みます。＜グラデュエーション・ポリシー＞

「病気や障がいの理解」

心身の健康を保持する力

成長の土台「意欲、主体性」

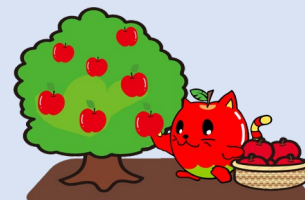
社会参加の基盤「人と関わる力」

自分らしく地域で楽しく生活する力



次の項目に重点を置き、教育活動を展開します。＜カリキュラム・ポリシー＞

- 授業の充実
- 健康で安全・安心な教育環境の充実
- 病弱教育の専門性と指導力の向上
- センター的機能の充実と関係機関・地域との連携
- キャリア教育の推進と進路指導の充実



次のような児童生徒を待っています。＜アドミッション・ポリシー＞

- 基本的生活習慣 心身の健康の保持とよりよい生活習慣の確立に向けて努力する児童生徒
- チャレンジ精神 目標をもち、何事にも進んで取り組む児童生徒
- 自己理解・自己受容 自分のことを大切にし、深く理解しようとする児童生徒